

日立東大ラボ：持続可能な社会の転換に向けたトランジション研究ワークショップ

2021年3月18日（木）13:00-17:00

第二部 トランジション理論の事例研究 【重層的視座(MLP)の観点から①】

地域に根ざした高齢者ケアへの持続的な移行 -日本の政策ニッチと福祉レジーム-

愛媛大学法文学部 太田響子

本日の報告内容

1. トランジション研究の福祉分野への応用可能性
2. 福祉分野のトランジションの特徴
3. 事例① 政策ニッチのスケールアップ
～富山の共生型ケアと介護保険制度・障害福祉制度～
4. 事例② 戦略的ニッチとマルチ-ニッチ
～東近江の多分野・多機能連携の試み～

1. トランジション研究の福祉分野への応用可能性

- ヘルスケア・ソーシャルケア分野の研究の少なさ
 - ヘルスケア：経営の観点や技術トランジションは多少あり
 - 公衆衛生：開発分野で多少あり
 - ソーシャルケア：ほぼ見当たらない
- なぜ少ないのか？
 - レジームの根強さ？
 - レジームの枠内でのイノベーション（強いタテ割りのサブレジーム）
 - アクターの固定性
 - 分野特有の条件
 - 国ごとの固有の制度条件、国家アクターが大きい、企業アクターが周辺的、財政のロジック、普遍主義的社会保障制度
 - 福祉分野における「持続可能性」の定義

2. 福祉分野のトランジションの特徴

- 技術革新よりもガバナンスの革新に重点
 - MLPとスケールアップ
 - 戦略的ニッチマネジメント
 - マルチアクターによるガバナンス
- 安定性と変化
 - 福祉国家レジーム（≡既存の固定的な制度枠組み）の長期的な安定性とブレークスルー
- ランドスケープは、国家システム、財政、人口動態
- 技術や社会システムよりも、より直接的に政府の制度の変容を迫ることになるため、政治的な議論になりやすい

重層的視座 (Multi-level perspective)

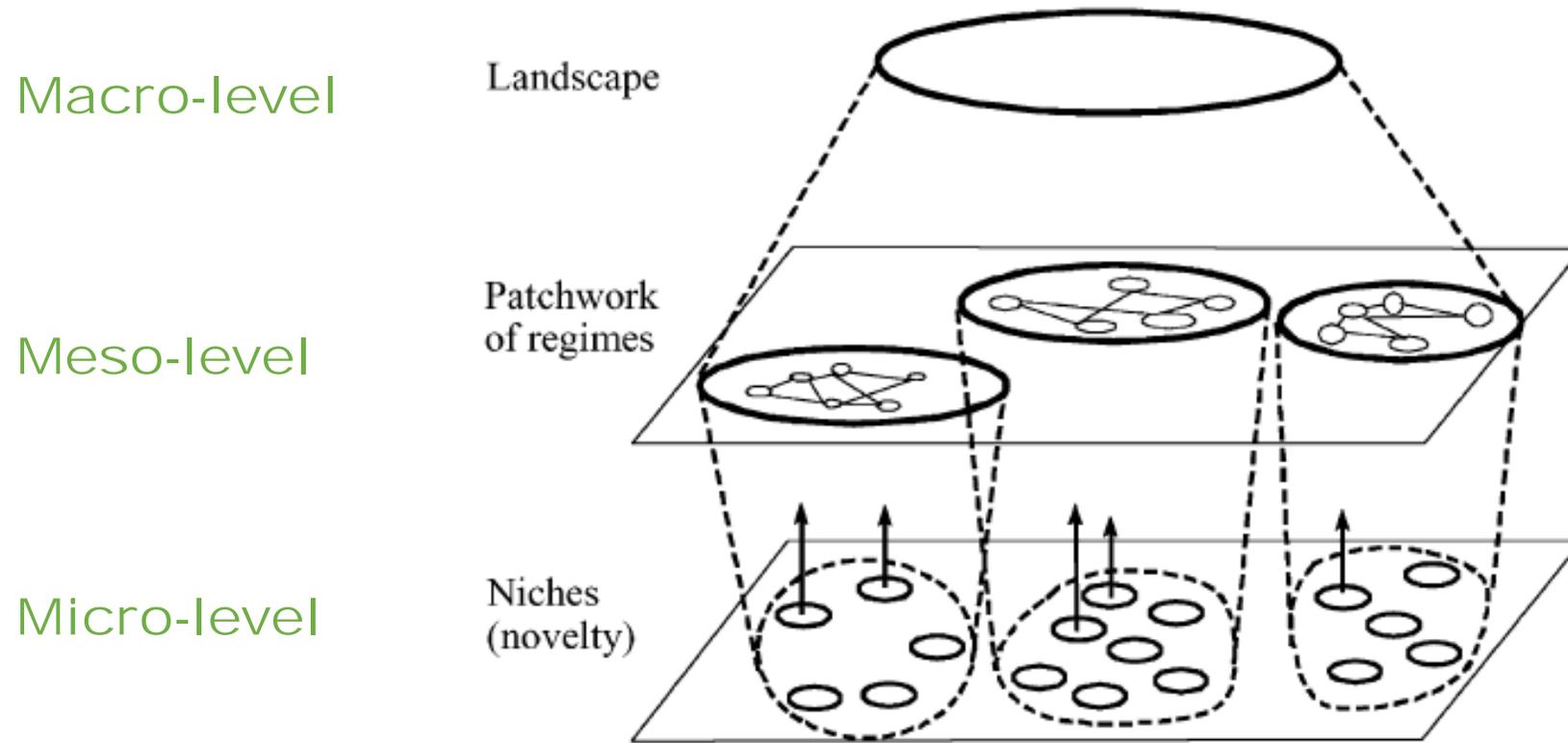


Fig. 3. Multiple levels as a nested hierarchy.

Source: Geels (2002)

重層的視座（MLP）における政策ニッチ

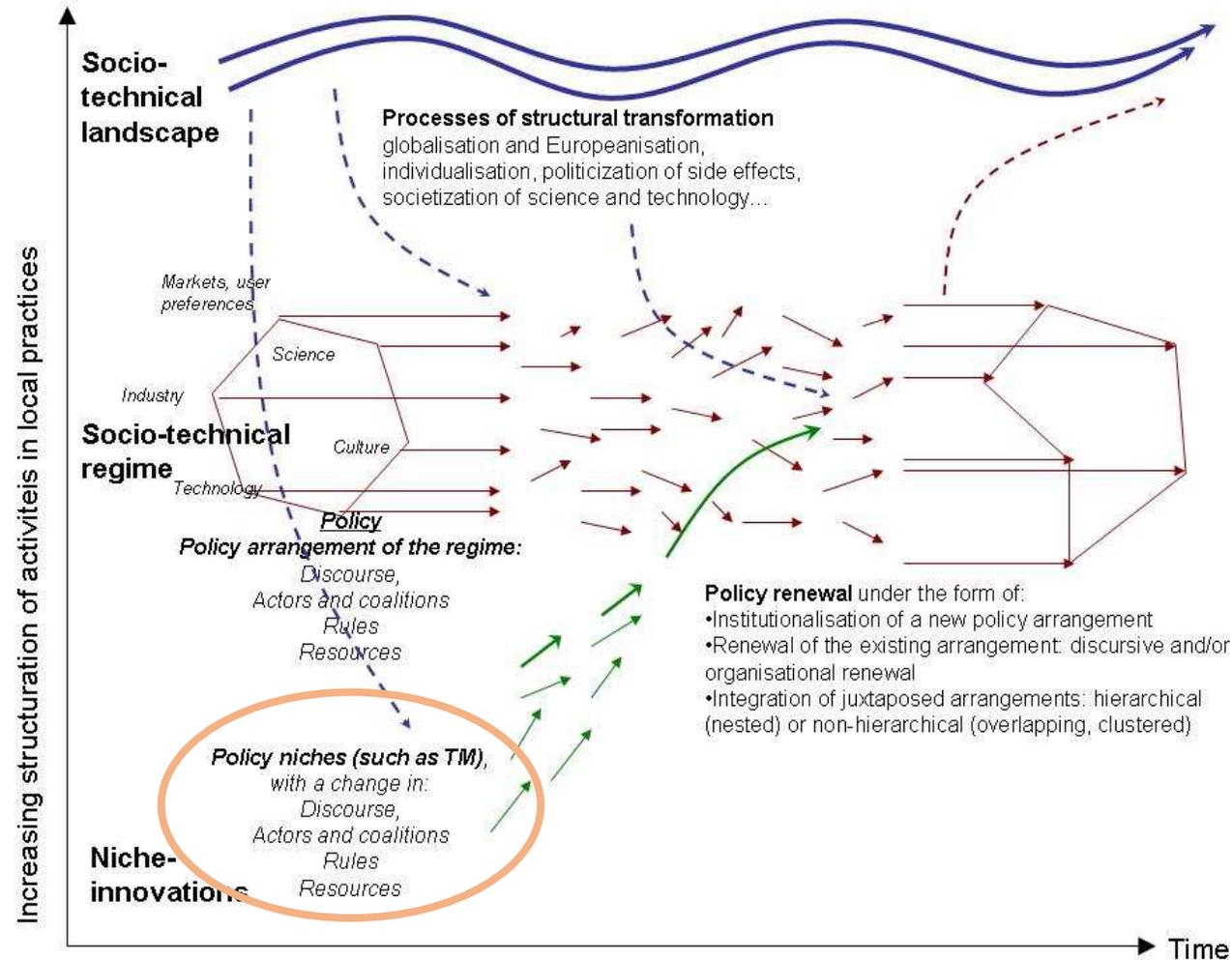
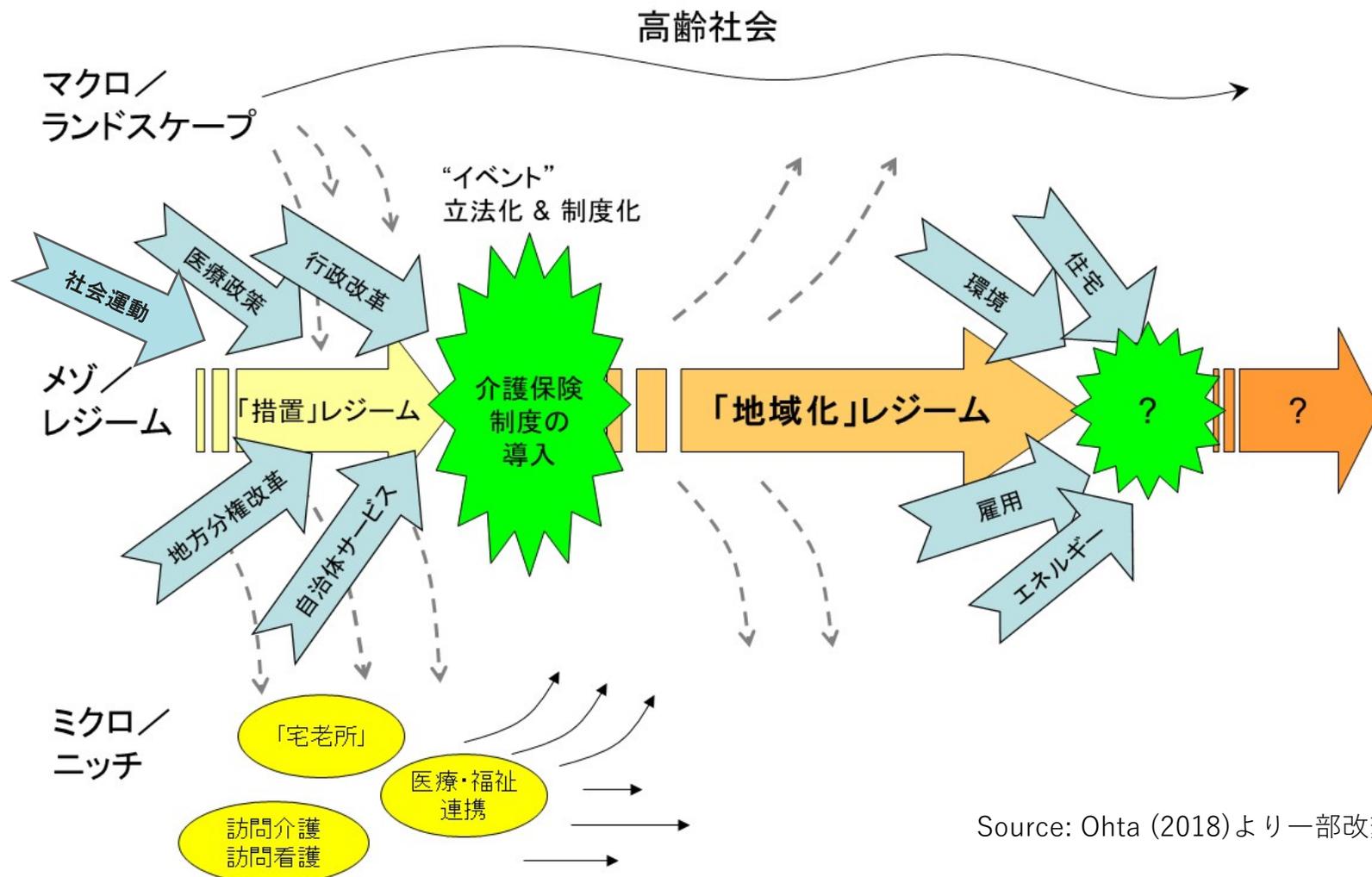


Fig. 2. The MLP for policy analysis (Paredis, 2013, p 55).

□ (例) 日本の高齢者介護レジームにおける試論

- 2000年介護保険制度の導入をブレークスルーと見た場合



Source: Ohta (2018)より一部改変

事例① 政策ニッチのスケールアップ

～富山の共生型ケアと介護保険制度・障害福祉制度～

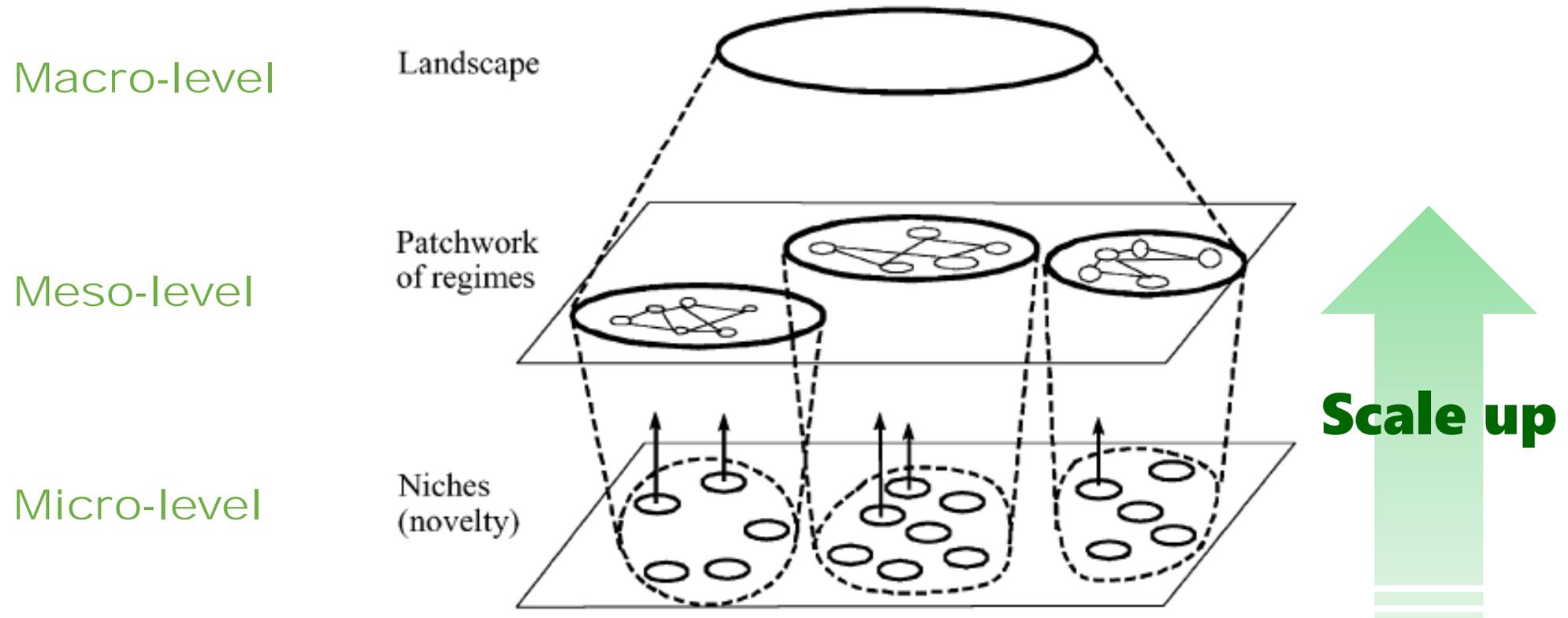


Fig. 3. Multiple levels as a nested hierarchy.

Source: Geels (2002)

事例① 政策ニッチのスケールアップ

～富山の共生型ケアと介護保険制度・障害福祉制度～

- 2018年4月、改正介護保険法における高齢者等向けの介護保険サービスと障害児・者向けの障害者福祉サービスにおいて「共生型サービス」が導入される。
- 経緯：1990年代より各地で「宅老所」等のコミュニティベースの民間ケアサービスの試み
- 富山では、宅老所「このゆびと一まれ」の働きかけを契機として、高齢者・障害児の預かりサービスに対する、市・県独自の補助制度を構築（1996～97年）
- 2003年、構造改革特区として「富山型デイサービス」認定（県全域）
- 2005年介護保険法改正で「小規模多機能型居宅介護」がメニュー化。翌2006年、障害者自立支援法制定により障害者支援サイドからも制度化。
- 2017年度介護保険法改正で「共生型サービス」導入。

「富山型デイサービス推進特区」の内容

認定前	介護保険上の指定通所 介護事業所	指定デイサービス事業 所（身体障害者）	指定デイサービス事業 所（知的障害者）
身体障害者	✓	✓	✓
知的障害者	×	✓	✓
障害児	×	×	×

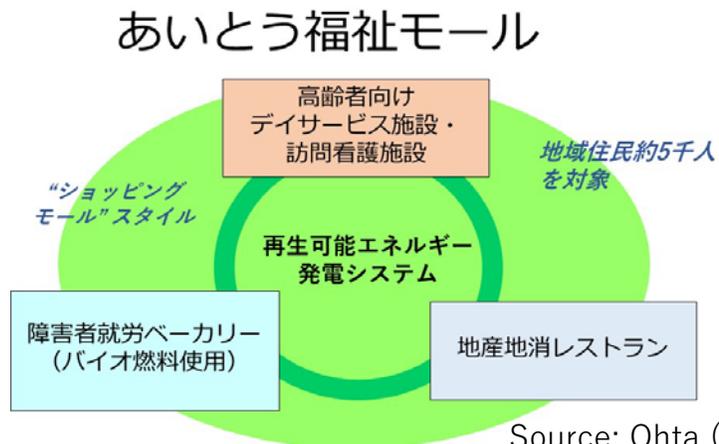


認定後	介護保険上の指定通所 介護事業所	指定デイサービス事業 所（身体障害者）	指定デイサービス事業 所（知的障害者）
身体障害者	✓	✓	✓
知的障害者	✓	✓	✓
障害児	✓	✓	✓

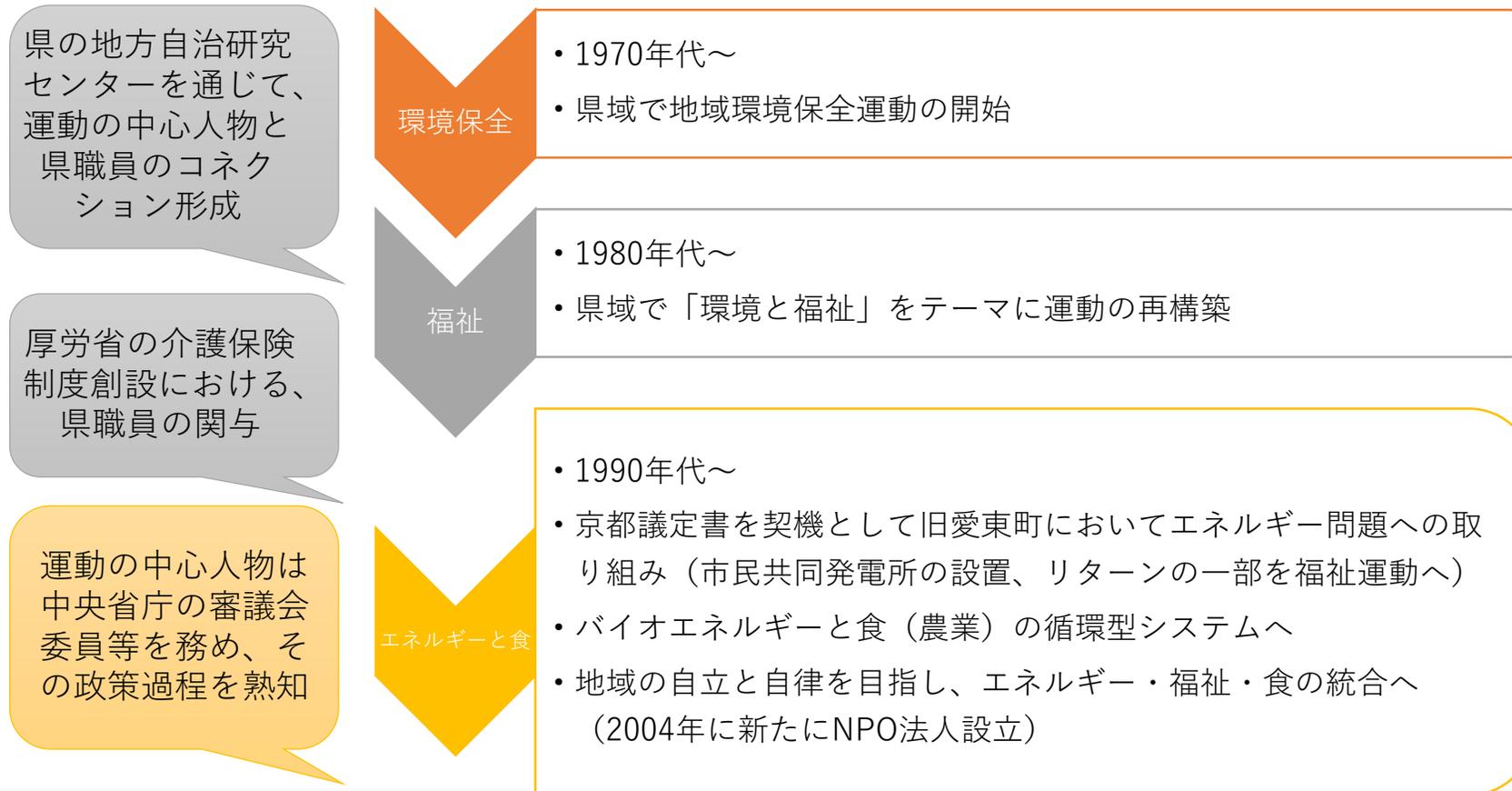
事例② 戦略的ニッチとマルチ-ニッチ ～東近江の多分野・多機能連携の試み～

□ 福祉・環境・経済をつなげるコミュニティビジネスの展開

- 「あいとう福祉モール」 2013年開設
 - 高齢者デイサービス、訪問看護施設、障害者就労ベーカリー、地産地消レストラン、再生可能エネルギー施設が連なる「モール」
- 「三方よし基金」 2017年設立
 - 地域の経済循環を促進するための、NPOと行政によるローカルファンド
- 東近江市・三方よし基金のプロジェクト「市民参加型SIB」 2016年開始



事例② 戦略的ニッチとマルチ-ニッチ ～東近江の多分野・多機能連携の試み～



事例② 戦略的ニッチとマルチ-ニッチ ～東近江の多分野・多機能連携の試み～

地域レベルの動き

2005年頃～、地域の自立と自律を達成するため、人口5千人（愛東地区人口に相当）を対象とした、ニーズの隙間を埋める複合的な施設建設の構想。



2009年頃～、旧愛東町職員、NPO、県職員、環境運動家を含む運営委員会・会議体を設置。デイセンターと障害者施設の個別事業開始

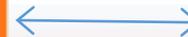
地域の新奇な事業について情報収集



東近江市を通じて厚労省の企画公募型補助金に申請。

2013年～高齢者福祉・障害者福祉・農家レストランの福祉複合施設を開業

補助事業開始、新たなコネクションの形成、視察等の増加



中央レベルの動き

2006年、介護保険制度改正に伴い、自治体の高齢者福祉への支援を促進する必要（厚労省老健局）



2007年頃～「地域介護・福祉空間整備等交付金」事業開始。



2011年～、新たに「市町村提案型」を加えた「地域介護・福祉空間整備推進交付金」事業開始。

事例② 戦略的ニッチとマルチ-ニッチ ～東近江の多分野・多機能連携の試み～

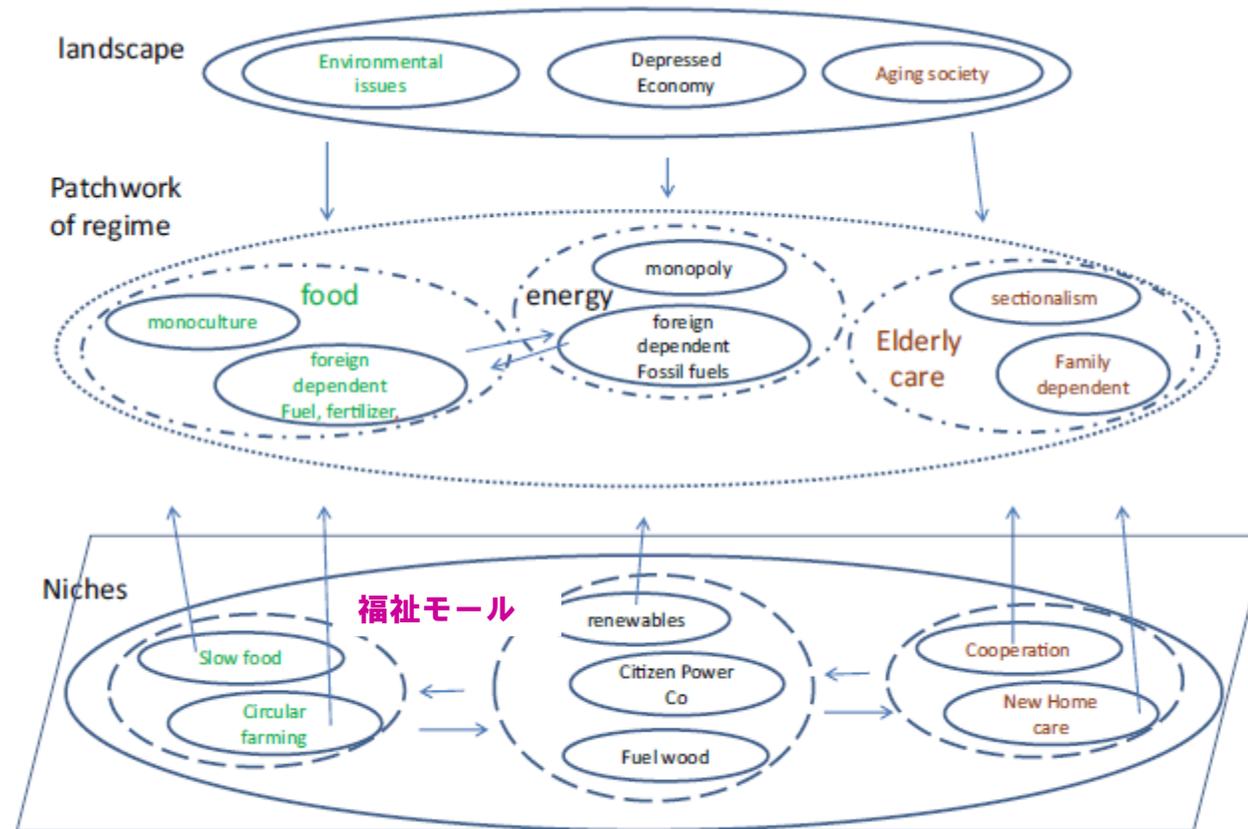
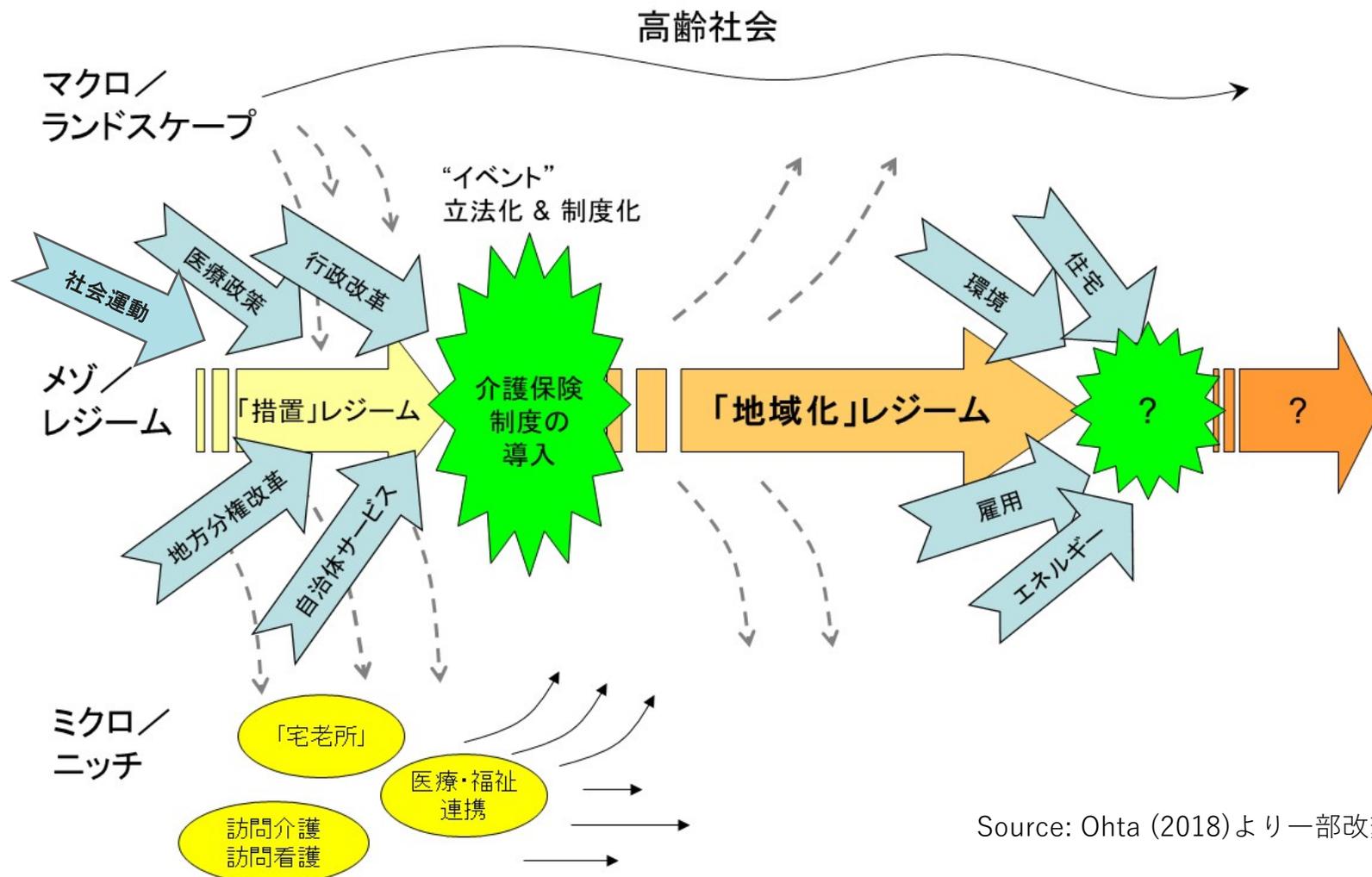


Fig. 5.4 Multi-level analysis of multiple niches-innovations and multi-regimes in Higashiomi (Mizuguchi S., design by Hosoi R.)

□ (例) 日本の高齢者介護レジームにおける試論 (再掲)

- 2000年介護保険制度の導入をブレークスルーと見た場合



研究成果紹介

- トランジションにおけるマルチ・ニッチ：滋賀県東近江市における多機能型コミュニティビジネス展開の政策過程
 - Mizuguchi, S., K. Ohta, PJ Beers et al. (2016) “**Interactions among Multiple Niche-Innovations and Multi-Regimes: The Case of the ‘Welfare Mall’ in Higashi-Ohmi**”, in D. Loorbach et al. (eds), *Governance of Urban Sustainability Transitions: European and Asian Experiences*, Springer, pp69-89
- トランジションにおける政策ニッチとレジーム：滋賀県東近江市における戦略的ニッチマネジメントとレジームの反応
 - Ohta, K. (2019) “**Sustainable Transitions to Localized Elderly Care: Policy Niches and Welfare Regimes in Japan**”, *Technological Forecasting & Social Change*, Vol.145, pp219-228

